

長崎ほしくだより

発行：一般社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

No. 227
2014.7

啓彦 和秀 55円



長崎県立虹の原特別支援学校教諭 ながさき椿姫監督兼選手

亀田 和美

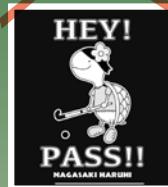
昭和57年川棚町出身。
長崎県立川棚高等学校にてホッケーを始める。
天理大学へ進学。
卒業後はホッケーの普及と強化に努めている。



長崎がんばらんば国体応援特集！！

HOCKEYを広めたい

～ホッケー教室とながさき椿姫の活動を通して～



知っていますか？

私がホッケーに出会ったのは高校入学からでした。部活を何にしようか悩んでいたときに友達に誘われるがまま入部しました。しかし当時、男子ホッケー部しかなく同好会として活動はスタートしました。入部したのはよかつたものの、実際はつまらなかったのです。

体験して、楽しんで

練習風景を見たときは、とても衝撃を受けました。サッカーはボールを足で操作しますが、ホッケーはステイックという道具でボールを操作し、ゴールへシュートしていたのです。みるみる私はホッケーの魅力にはまり、大学でもホッケーを続け、現在は地域へのホッケーの普及や長崎国体へ向けて成年女子の強化をめざし、活動しています。

はどんな競技なのか全く
知らなかつた私。なので、
初めて男子部の先輩方の

A black and white photograph showing a group of approximately ten elementary school students playing field hockey. The students are wearing casual athletic clothing like t-shirts, shorts, and knee-high socks. They are on a grassy field with a chain-link fence and trees in the background. Some students are in motion, running or skating towards the right side of the frame, while others are positioned further back. A red and white flag is visible on the left side of the frame.

ら、楽しんで体験してくれました。職場の方々にはメンバーの活動を理解してもらういい機会にもなりました。このように少しづつではありますが、ホッケーというスポーツが地域に浸透しつつあるなど感じています。これからもホッケー教室を通じて、州予選で今まで勝てなかつたチームに決勝で勝てます。そこで、その悔しさをバネに「今年こそは！」と練習を積んできましたが、5月初めに行われた今年度の社会人大会の九州予選で今まで勝てなかつたチームに決勝で勝てます。

では、平成18年度に小学
生を主な対象としたスポ
ーツ少年団を起ち上げる
とともに、年に数回ホッソ
ケ教室を実施していくま
す。スポーツ少年団の活
動は保護者が送迎をして
くれるので、ホッケーの
環境が整つた川棚高校や
川棚大崎自然公園交流広
場で行いますが、子ども
一人では足を運ぶことが
難しく、教室はなかなか
参加者が増えませんでし
た。そこで、それなら小
選手達に指導の手伝いを
してもらうのですが、子
ども達はその年に一度し
か会わない選手達のこと
をよく覚えており、「今
年〇〇先生は来んと？」
「おいはまた〇〇先生に
教えてもららう！」と樂し
みにしてくれています。
それから、昨年はメン
バーの職場である保育園
でもホッケー教室を実施
しました。園児のみなさ
んは「先生、すごか！」
と憧れの眼差しで見なが



長崎国体へ向けての成長女子の強化については、ながさき椿姫（はるひ）という社会人チームを母体に大学生などのふるさと選手を加え取り組んでいます。具体的には平日は週2回のナイト練習と週末は高校生との合同練習や他県への遠征を行っています。これだけの頻度で練習があると、それなりに仕事があるので調整

と約100日ですが、一つでも勝てるよう勉励みたいと思います。ぜひとも応援のほど、よろしくお願いします！

國體八目

＼がんばれ～長崎！！／



アカ出でいました▼近頃限られた優秀な人がトップダウントで動かす組織、団体よりも一人ひとりの個性を活かして、つながって協力し合う、ネットワーク型の組織・団体の活躍が著しくなっているように思います。子どもたちのための団体も N.P.O. 子ども会、子育て支援サークルなど各種あります。保育園や保護者を知らないままの保育院芸芸も、子育て世代が直面している様々な困難さに、様々な団体と協力し合い対応し、子ども達の育ちを支えるネットワークとして大きく育つことを願っています。(T)

長崎ほいくだより

発行：社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

購読料 一部 55円

続きを読むは、お買い求めいただきご購読下さい。

お問い合わせは、保育所(園)または長崎県保育協会までお願い致します。

2ページ目以降の内容をご紹介

■ つれづれ

園長先生等のリレー式コラムです。保育に対する思いや考えなどを文章にしています。

■ 保育のひろば

- 地域との交流

各保育園の近隣の交流状況など画像を添えて紹介します。

- ランチタイム

給食やおやつ、食育等の取り組みを情報提供致します。

- 保育園めぐり

県下の保育園を地区別に順番で紹介しています。

■ すこやかなそだち

保育の専門家が、プロの視点で子育てに関する様々なテーマに基づいて書き下ろす連載コーナーです。

■ 読者のひろば

子育ての思いやエピソードなど地区別の保護者に書いていただくコーナーです。

■ でいい

保育士に保育に対する質問を投げかけそれに答えるコーナーです。

■ ZOO夢イン 家族のお出かけスポット情報

編集部一押しの地元のお出かけ情報です。家族向きのお出かけに参考になります。

■ つぶやき

■ わんぱく写真館

子ども達の日頃の保育園における活発な活動の写真を掲載しています。

■ え？！絵本

子ども向けのおすすめ絵本です。わかりやすく解説しています。

